

しどういん

発行 厚木市青少年指導員
連絡協議会
編集 広報部会
厚木市中町1-1-3
TEL 225-2580

私が青少年指導員として活動
をさせていただいてから、早い
もので5年目となりました。
青少年指導員を引き受ける
が、餅つきときは子どもたち
も、餅つきを育てるのではなく、稲
を育てることには一生懸命で、楽
しく行いました。田植え、収
穫、餅つきときは子どもたち
も、餅つきを育てるのではなく、稲
を育てることには一生懸命で、楽
しく行いました。田植え、収
穫、餅つきときは子どもたち



地域を盛り上げるメンバー

私が青少年指導員として活動
をさせていただいてから、早い
もので5年目となりました。
青少年指導員を引き受ける
が、餅つきときは子どもたち
も、餅つきを育てるのではなく、稲
を育てることには一生懸命で、楽
しく行いました。田植え、収
穫、餅つきときは子どもたち



これからの協力し合いながら
活動を楽しみたいと思います。



音楽は世界共通語だ

目指せ「元気なあつぎ」 厚木市青少年指導員連絡協議会

会長 勝木 陽一

会長として1年が過ぎようとして
います。青少年指導員のメ
ンバー、青少年育成関係団体・
市職員の皆様のご指導、ご協力
により、責務を遂行することが
できました。深く感謝申し上げ
ます。

厚木市では、「みんなであつぎ」
う元気なあつぎ」をコンセプト
とし、それを達成するために
は、「未来を担う青少年が健やか
かに成長していく」ことが必要
だと考えています。スローガンと
して「心のふれあいと夢を育む
青少年」家庭・学校・地域の連
携で「あつぎ」を掲げて青少年育成に
取り組んでおります。

私たち青少年指導員の基本は
地域活動にあります。地域で子
どもたちを育てる活動を行うに
当たり、「家庭・学校・地域」
の協働体制の在り方を検討する
必要があります。その際、青少
年関連団体を含めた地域の大人
同士のコミュニケーションを図
ります。さらに、ジュニアア
リダーを育成し、関係をより密接
にします。

私たち青少年指導員は、他の
青少年関係団体・行政の方々、
地域の方々と共に、「元気なあ
つぎ」をつくっていきます。

私の地区自慢

一緒に楽しむ

依知北地区

依知北地区では、7人の青少
年指導員が活動しており、青少
年指導員全員が地区の青少年健
全育成会にも所属しています。

青少年健全育成会では、青少
年が日頃体験したことがないこ
とや少し難しいことにチャレン
ジできる機会を提供し、そこで
充実感や達成感を味わえるよう
な事業を実施しています。

また、今年度の青少年指導員
独自の活動としては、ジュニア
リーダーと一緒に実施した山際
児童館夏まつりでの手作りのお
化け屋敷、依知北公民館まつり
での焼きそばの模擬店、初めて
ジュニアリーダーコーナーを設
置して実施した秋の上依知文化
祭での紙ブーメランなどがあり
ます。

私たち青少年指導員は、地区
の青少年に最も近い距離にいる
大人として子どもたちと一緒に
事業を楽しんでいます。

何ととっても泥んこパレー

南毛利南地区

南毛利南地区が自慢できるこ
とは2つ。
1つは田植え前の田んぼで行
う泥んこパレーボール大会で
す。愛甲小学校長や愛甲公民館
の仮装も見どころですが、何
ととっても泥だらけでボールを
追う選手のハッスルプレーと笑
顔は素晴らしいものです。我々
青少年指導員はジュニアア
リダーとともに、選手や応援の皆
さんに楽しんでもらえるよう、
大会運営に協力しています。

もう1つは事業への出席率
が高いことです。青少年指導員
独自の活動の他に地区の青少年健
全育成会や公民館行事にも積極
的に参加、出席率は90%を優に
超えています。

フレンドシップコンサート

南毛利地区

10月4日長谷谷青少年健全育
成会主催による「フレンドシッ
プコンサート」が南毛利小学校
体育館で行われました。

このコンサートを行う目的
は、長谷地区の3つの学校の
交流です。愛甲小学校から東名
中学校に行く学区、南毛利小
学から南毛利中学校に行く学
区、毛利台小学校から玉川中
学に行く学区です。

この地の利を生かし地域の子
どもたちと米軍座間キャンプの
2つの音楽団フジ・ウィンスと
アングルサムを迎え、音楽を通
じてふれあいの場が広がればと
思い開催されました。

プログラムの最後の「聖者の
行進」は全員での演奏、とても
迫力があり、音楽は世界共通語
だと思いました。

表彰者

喜びの声

神奈川県青少年指導員表彰

を頂いて

睦合南地区 福岡 典秋

11月9日、小田原市生涯学

習センターにおいて第47回神
奈川県青少年指導員大会が開催
され、睦合西地区の葉山光三氏
と共に福岡が、神奈川県青年
指導員表彰を頂きました。大
変、光栄におもいます表彰を頂
きました。

本青少年指導員大会は、小田
原青少年合唱隊の歌声で始ま
り、最後に鈴木一光氏の公演
「社会的参照 大人が子どもを
見守る意味」を聴きました。思
い出に残る一日でした。



葉山氏(右)とともに

葉山光三氏と私は、13年
前、同じ睦合南地区青少年指導
員になりました。知り合いに頼
まれ、「いや」とは言えず指導
員になりました。子どもと一緒に
いることは好きでしたが、
しゃべりが苦手で、青少年指導
員が務まるか不安でした。出来
る限りイベントに参加して、青
少年指導員に慣れようと思いま
した。

当時、睦合南地区では1年を
通じて稲作事業を行っており、
子どもを育てるのではなく、稲
を育てることに一生懸命で、楽
しく行いました。田植え、収
穫、餅つきときは子どもたち

私が青少年指導員として活動
をさせていただいてから、早い
もので5年目となりました。
青少年指導員を引き受ける

心新たに

依知北地区 津田 信二

きっかけは、突然の自治会長の
訪問でした。当時は、自治会活
動の1つとの認識であった私
は、少しでも地域のお手伝いが
できればとの軽い気持ちで引き
受けてしまったことを思い出し
ます。

そんな私が表彰されると聞い
た時は、本当に私が？との思い
や、今まで青少年指導員として
何をしてきたのかということを
改めて考える機会となりました。

これからも、いただいた感謝
状を励みとして、子どもたちと
の関わりを大切に、地域の中
で子どもたちが元気よく活動で
きる環境づくりに取り組み、地
域を盛り上げていきたいと思っ
ています。

平成26年度表彰者一覧

永きにわたる活動により、表
彰を受けた仲間たちです。

神奈川県青少年育成 功労者表彰

(平成27年2月15日)
睦合北地区 古茶 一英

神奈川県青少年指導員 連絡協議会表彰

(平成26年11月9日)
睦合南地区 福岡 典秋
睦合西地区 葉山 光三

厚木市表彰

(平成27年2月1日)
睦合南地区 福岡 典秋
睦合西地区 葉山 光三

厚木市青少年育成活動 推進者表彰

(平成26年11月29日)
厚木南地区 亀井 智恵
依知北地区 津田 信二
睦合北地区 工藤 正
南毛利地区 笹谷由利子
相川地区 石井 幹夫
相川地区 新田美佐子
南毛利南地区 長島 保江



おめでとうございます

その他
神奈川県青少年指導員連絡協議会
の事業や市内関係団体等の主催
事業に参加・協力



編集後記

成人の日に開催された「はた
ちのつどい」に、私の娘も出席
していました。

早生まれの娘は、阪神淡路大
震災や、地下鉄サリン事件で始
まった年の生まれです。あの災
害や事件から20年たったので
すね。

小学校のPTA委員・中学校
のPTA会長を経て、娘が大学
生になった今でも、大学の保護
者会の役員をしています。総長
やゼミ教員の学部長と酒を酌み
交わしたり、部活の応援に行っ
たり、むしろ私が楽しんでいま
す。これも子どもに感謝です。

平成27年度も青少年指導員を
よろしく願っています。

仲間が増えた
依知南地区

4月のアミューあつぎ開館事業・5月の少年少女フェスティバル・8月の防災キャンプ等、青少年指導員といつも一緒に活動してくれているのは、ジュニアリーダーズクラブのメンバーです。

中学2年生が1人もいなくて来年4月には、中学生がゼロ。そんな心配をしていましたが、夏の防災キャンプにボランティアで参加してくれた生徒を含めて中学1年生が3人、ジュニアリーダーズクラブに加わるようになりました。

公民館・青少年健全育成会・自治会等の行事に取り組み力がアップしました。

地域の皆さん、何かお役にたてることがあれば、気軽に声をかけてください。

ジュニアリーダーとともに

陸合北地区

陸合北地区青少年指導員は7人で構成され、青少年健全育成会、公民館諸団体、児童館運営委員会のメンバーとして活動しています。また、陸合中学校区のジュニアリーダーズクラブの育成を推進し、本年度はジュニアリーダーの目覚ましい活動が児童館運営連絡協議会から表彰

されました。

主な活動内容は、小学校3〜6年生を対象にしたサマーキャンプ、自然に親しむ会、公民館まつり、小・中学校と合同のパトロール、厚木北高校の生徒が企画・運営する小・中学生を対象にしたスポーツ教室の支援です。これからもジュニアリーダーと協力しながら様々な活動を通して青少年の健全育成と地域が元気になるよう貢献していきたいと思えます。

地域こども教室

陸合南地区

陸合南地区には2校の小学校（清水小・妻田小）があり、それぞれの小学校で「地域子ども教室」を開催しています。放課後に開催するのは月1回ずつで、ドッジボールやグラウンドゴルフなどを行います。夏休みや春休みは会場を陸合南公民館に移し、ゲーム（的あて・ペーゴマ・バルーンアートなど）を行います。9月にはマジカルTOMさんを招き、体育館で大道芸の鑑賞会を行いました。

1年間の参加児童は、延べ1000人にもなります。どの子どもも、とても楽しそうに参加しています。子どもたちの居場所や交流の場をつくるために、これからも継続したいと考えています。

ジュニアリーダーの成長
荻野地区

荻野地区の自慢はジュニアリーダーです。当地区のジュニアリーダーは中学1年生から高校2年生まで33人で組織されています。春の少年少女フェスティバル、夏の河川美化運動、秋の地域大運動会、冬の星空観察会と四季を通じて大活躍しています。

少年少女フェスティバルでは輪ゴム鉄砲の工作支援。夏の河川美化運動ではゴミ拾い・鮎のつかみどりの運営支援。秋の地域大運動会では選手たちの誘導・審判・記録の支援。冬の星空観察会では子どもたちの望遠鏡の工作支援等々、我々青少年指導員とともに荻野の子どもたちのためにフル活動しています。これからも彼らの成長を見守りつつ、自分たちのスキルも高めて行こうと考えています。

みんなで楽しむ！

厚木南地区

厚木南地区青少年健全育成連絡会では、年間3つの大きなイベントとして、「三世代地域交流スポーツフォーラム」、「防災キャンプへGO!」、「大山頂上へGO!」を開催しました。特に子どもたちの反響が大き

かったのが「防災キャンプへGO!」でした。地域の防災設備を見学して、小学校の体育館で1晩泊まりました。夜は激しい雨の音にびびくりした子どももいましたが、みんなでキャンプファイヤーを囲み、防災知識を交えながら楽しいレクリエーションの時間を過ごしました。各イベントを運営するにあたり忘れてならないのが、ジュニアリーダーや厚木中学校ボランティア部員の活躍です。小学生と大人のかけ橋として、自分たちで考え、積極的に参加していただきました。

今後もみんなで楽しめ、参加いただけるようなイベント企画をしたいと考えています。



はしご車すごーい!

地区活動頑張っています

厚木北地区

厚木北地区地域福祉推進委員会（世代間交流部会）の健康維持事業「秋のニユースポーツ体験会」が11月29日、厚木小学校の体育館において、小学生と高齢者約40人参加のもと行われ



高齢者とジュニアのハンドゲーム

ものづくり体験教室

玉川地区

玉川地区には2つの単位の青少年健全育成会があり、青少年指導員はこの活動についても支援しています。今回は小野・岡津古久青少年健全育成会の事業で10年目となる「物作り体験教室」について紹介します。

今年度は厚木ガラススタジオで「とんぼ玉作り・サンドブラスト・宙吹きガラス体験」を実施しました。バーナーを使ったり、溶けたガラスを扱ったりするため、職人さんのサポートを受けて子どもたちは真剣に取り組みました。中には、3年前は割れてしまったので、今年はりペンジだと意気込んで参加した子もいました。初参加の子はガラスが風船のように膨らむ様子に歓声を上げていました。子どもたちの作品は公民館まつりで展示します。

ふれあいお泊り会

森の里地区

森の里地区の青少年指導員は、青少年健全育成会連絡協議会の役員として様々な育成活動に携わっています。その1つに「ふれあいお泊り会」があります。

これは、ジュニアリーダーが中心となり、七沢自然ふれあい

センターで1泊2日の合宿形式で小学生たちとゲームや食事作りを通してふれあう企画です。

ジュニアリーダーたちが企画内容を決め、当日は小学生たちをリードしていきます。小学生たちが、ジュニアリーダーに親近感を感じながらも、節度のある態度で活動をする様子はジュニアリーダーのリーダーシップの賜物と思えます。頼もしくなっていくジュニアリーダーと次の世代の小学生を見て、これからの期待してしま

楽しいお手伝い

陸合西地区

10月25日、第3回ヤングフエスタin陸合西が、陸合西公民館で行われ、お手伝いをしました。参加出演者は、幼稚園、小、中、高校生です。

林地区の林太鼓保存会による迫力ある太鼓の演奏から始まり、幼稚園の子どもたちはかわいらしい踊りを一生懸命踊り、小学生はかっこいいダンスを、林中学校と陸合東中学校の吹奏楽部は迫力のある演奏を、厚木東高校は人形浄瑠璃、厚木商業高校は琴の演奏をそれぞれ披露してくれました。観に来ていたお年寄りの方々に大いに喜んで頂きました。子どもたちも参加賞のあゆこ口ちゃんバッジをも

らって大喜びでした。

陸合西地区は、近隣に学校が沢山あり、1年間の練習の成果を公民館で披露してくれます。ぜひ大勢の方にお立ち寄りいただきたいと思えます。



迫力ある演奏

3つのこだわり

相川地区

相川地区の青少年指導員は、経験者5人（含む女性1人）、新任者2人の合計7人です。ペテランの理事を中心に、仲良く愉快地活動している相川地区のこだわりを3つ紹介します。

1つめは、毎年改良を重ねる平成の水鉄砲。春の少年少女フェスティバルの定番で、ジュニアリーダーの製作指導も大好評。2つめは、冬の公民館まつりの焼き芋。さつま芋の仕入れから、ドラム缶の焼き芋づくりまで、秘密の技が満載です。長い列の来場者が、焼き芋の完成を楽しみに待っていてくれます。3つめは、12月の中3日ジュニアリーダーの地区壮行会。日頃の感謝、受験の勝利、そしてカムバックの願いを込めて、

お菓子パーティーをしながら、参加者全員でエールの交換を行います。

のびしろが大きい相川地区の今後の躍進に、皆さん、えうご期待！



水鉄砲の指導者達

リバーフェスタ2014

小鮎地区

今年も夏休み前の7月20日に「ふるさと小鮎の自然を大切にすることのできる子ども育成」と河川への美化意識、子どもたちが自然体験活動を通じて楽しく遊び、異なった年齢の方々と交流を図るとともに地域の大人のふれあいを深める」との趣旨のもと小鮎リバーフェスタ2014が開催されました。

準備は1週間前から流しそめん用の太い竹の切り出しと、竹を細く削って塩焼き用の竹串を役員総出で行い、当日は役割を分担し、青少年指導員は受付・鮎のつかみ取り・流しそめん竹樋の加工と麵ゆで・川遊びなど、それらの役割のリーダーとなりました。小鮎川をまたいで設置された

ました。まず、参加者を3グループに分け、各種目を30分毎に回ります。グループ対抗競技の「スポーツ吹矢」では、スポーツ吹矢協会厚木支部の方々の協力で、礼儀作法から指導していただきました。

競技は、ひとり5本の矢を吹いて得点（最高得点35点）を争います。30点を超える得点をマークする小学生もいて、的をめがけて真剣な顔で吹矢を構えていたのが印象的でした。

グループ内での競技は、3対3で争う卓上のカーリング「カールレット」です。みんな、大声を張り上げながら楽しそうにゲームをしていました。

さらに、ジュニアリーダーを中心にゲームをして、小学生と高齢者の親睦・交流を図りました。

また、12月6日に行われた児童館主催「ワクワクこどもまつり」は、工作・射的・ストラックアウトを担当し、多くの子どもたちとふれあうことができたと思えます。

ビッグな流しそめんは、ジュニアリーダーが麵を少しずつ流すと、お椀いっぱいになるまで、お椀が口いっぱいになるまで、子どもたちの姿が見られました。大人も流しそめんや鮎の塩焼きを食べお腹を満たしました。

私たち、青少年指導員を含め役員の方々や保護者の方々とふれあいの機会が持て、楽しい一日を過ごしました。

厚木市青少年健全育成大会に参加して
緑ヶ丘地区

第39回厚木市青少年健全育成大会において「豊かな心育む故郷・緑ヶ丘」をテーマに活動を紹介しました。

「魚つかみ取り大会」では他校の子どもたちとのふれあい、「いもほり大会」ではお年寄りを含めた三世代のふれあい、「もちつき大会」では親子のふれあい、「ボーリング大会」では上級生と下級生のふれあいなど、それぞれの事業に参加した子どもたちが、「ふれあい」を通じて大きく成長してくれる事を願いながら活動を行なっています。

冒頭で紹介した50年前の空き地だらけの頃と変わらず地区ぐるみで子どもたちの心を育む活動に、これからも励んで行きたいと思えます。